

牛久市議会

議

会

報

告

会



平成30年11月10日(土)
牛久市中央生涯学習センター
主催 牛久市議会

次 第

開会のことば

議長あいさつ

議会改革の今まで

第 1 部

総務常任委員会

・防災、防犯 ・地域公共交通

教育民生常任委員会

・子育て、教育 ・介護予防

産業建設常任委員会

・エスカード牛久ビル ・観光政策

休憩

第 2 部 フリートーク

皆様のご意見をお聞かせください

閉会のことば



総務常任委員会

委員長／杉森 弘之 副委員長／遠藤 憲子

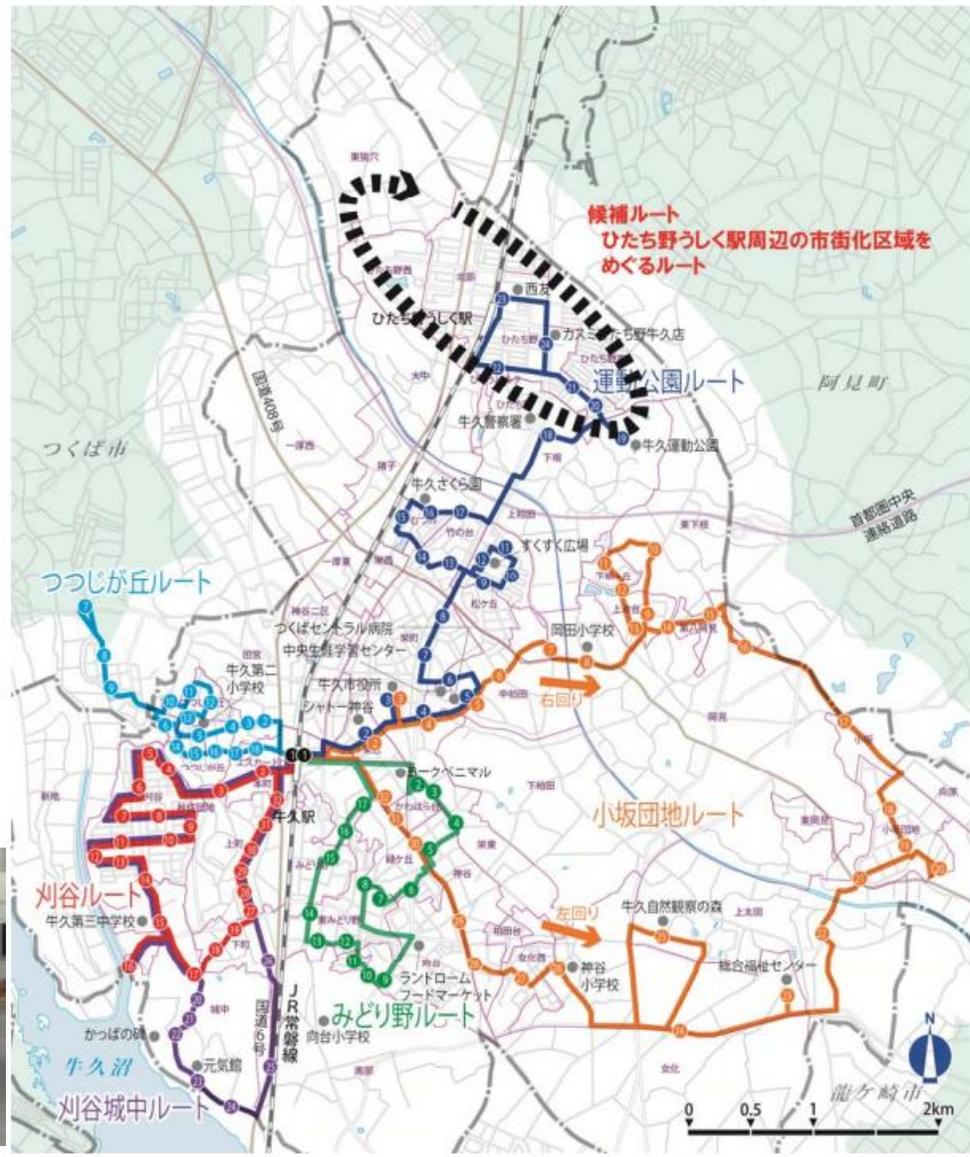
委員／中根 利兵衛・山越 守・尾野 政子・小松崎 伸・守屋 常雄・伊藤 裕一

牛久市の公共交通の種類

種類	概要
鉄道	JR常磐線が運行されており、北からひたち野うしく駅、牛久駅の2駅が配置されている。 両駅ともに、路線バス等が乗降できる駅前広場が整備されている。
路線バス	牛久駅、ひたち野うしく駅を起終点として、関東鉄道とJRバス関東により、8系統の路線バスが運行されている。
<u>かっぱ号</u>	牛久駅、ひたち野うしく駅を起終点として、市街地や団地をカバーするように、6系統のかっぱ号を運行している。
<u>かっぱ号通勤ライナー</u>	朝夕の通勤通学者を対象に2系統のかっぱ号通勤ライナーを運行している。
<u>公共交通空白地有償運送</u> (<u>過疎地有償運送</u>)	奥野地区を対象に、NPO法人サンライズが公共交通空白地有償運送(過疎地有償運送)を実施している。
福祉有償運送	5団体が市内で、障がい者等を対象とした福祉有償運送を実施している。
牛久第二小学校区 買い物サポート事業	牛久市の第二小学校区地区社協(牛久市独自の団体)では、地域住民が主体となり、つつじが丘地区の高齢者を対象に移送サービスを実施している。
タクシー	4社が市内でタクシーの営業を行っている。

※『牛久市地域公共交通網形成計画』(2016)より

コミュニティバスかつぱ号



奥野地区の公共交通空白地有償運送

事業概要	公共交通空白地有償運送（過疎地有償運送）は、過疎地域やこれに類する地域においてNPOをはじめとした非営利の法人や組合等が主体となり、自家用自動車を使用して対象地域内における住民を有償で輸送するサービスである。
事業主体	NPO法人サンライズ
利用方法	事前登録制（年会費 3,600 円）※65 歳以上の方は年会費無料です。 利用ごとに予約制
運行の範囲と料金	①奥野地区内での移動（片道 300 円 往復 500 円） ②奥野地区内と市内の目的地の間の移動（片道 500 円） ③奥野地区内と済生会病院（龍ヶ崎市）、霞ヶ浦医療センター（阿見町）との間の移動（片道 500 円） ※高校生は割引がある。（300 円→200 円、500 円→300 円）

公共交通空白地有償運送（過疎地有償運送）イメージ図

<事前に…>



〇月×日の△時に、〇〇診療所
に行きたいのでお願いします。

電話で配車予約



配車センター

分かりました。×日の△時前
にお迎えに伺います。

<当日>



市原市視察

平成29年10月24日

●コミュニティバスは2路線、
デマンドタクシーは3地区
で取り組まれている

●市の補助は運行経費の
2分の1を上限とし、不足分は
地域が負担



防犯対策について

防犯灯の設置

- ▶ **市民満足度調査**では、「**夜間や人通りの少ない地域における安全確保**」の要望が一番。
- ▶ 平成29年度末で9,568基
- ▶ 平成22年度からLEDに取り換え（10年間リース契約）

	平成4年	平成11年	平成18年	平成19年	平成23年	平成26年～
市負担割合	50%	60%	70%	80%	90%	100%

防犯灯電気料の市負担割合

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
電気料金	3,579万円	1,997万円	1,200万円	1,400万円

年間電気料の推移

- ▶ 年間約160基設置する計画

防災について

市の取り組みと地域の取り組み

- 過去の災害から

平成22年東みどりの地区で竜巻発生

平成23年東日本大震災発生

人的被害（軽傷）4名

住宅被害・全壊3棟、半壊・104棟

一部損壊2,925棟



- これからの災害に対して

⇒想定される「プレート境界茨城県南部地震」マグニチュード7.3

ゆれやすさ防災マップを全戸配布

⇒自主防災組織のある地区では、**第1次避難場所** = 行政区区民会館

第2次避難所 = 各学校体育館などのハザードマップを作っている。

教育民生常任委員会

委員長／須藤 京子 副委員長／藤田 尚美
委員／鈴木かずみ・石原 幸雄・柳井 哲也・板倉 香・山本 伸子

子育て・教育

●保育園の整備状況

施設数 公立保育園 4、私立保育園 12、認定こども園 1、小規模保育園（19名定員）1

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
利用定員	223	299	357	364	374	376
待機児童数	29	31	31	0	0	0

（10月1日現在）

保育士不足による待機児童発生数 **43**人

牛久市の対応

①保育士確保のための処遇改善

処遇改善費補助金

（民間保育園に勤務する常勤保育士・保育教諭に月額15,000円の補助）

施設運営費における処遇改善

②保育園の各種事業

一時預かり、病後児保育、延長保育、休日保育、子育て支援センター

●旧第一幼稚園舎を解体撤去(平成30年度補正予算で対応)

・解体工事スケジュール

11月初旬入札 ⇒ 12月中旬工事開始 ⇒ **平成31年3月工事終了**

・解体作業の方法、留意点

アスベストの飛散防止に努め、建屋を外し、
アスベスト濃度の測定を行いながら除去作業を行う。



●学校施設の整備状況

⇒ **エアコンの導入** **平成20年度に全小中学校に設置**

平成17年に内全校の図書室に導入後、18年には全中学校の普通教室及び音楽室、
19年に小学校5校の普通教室・特別教室等、2校は大規模改修で設置、中学校の特別教室等に
設置、20年に小学校1校の大規模改修で設置して、全小中学校に設置となる。

⇒ **耐震化** ※昭和56年建築基準法改正後の建築は新耐震と記載

小学校名	牛久小	岡田小	奥野小	牛久二小	中根小	向台小	神谷小	ひたち野うしく小
校舎	H19	H19,H20	H18	H15	H24	H21,H22	新耐震	新耐震
体育館	新耐震	H25改築 新耐震	新耐震	H24	H24	H27	新耐震	新耐震

中学校名	牛久一中	牛久二中	牛久三中	下根中	牛久南中
校舎	H14改築 新耐震	H16	H23	新耐震	新耐震
体育館	H29改築 新耐震	新耐震	H26	新耐震	新耐震

⇒ 大規模改修工事

※建築後20年未満は改修工事の補助対象外

	牛久小	岡田小	奥野小	牛久二小	中根小	向台小	神谷小	ひたち野うしく小
校舎	H19	H19,H20	H18	H15	H24	H21,H22	(トイH25)	対象外
体育館	対象外	対象外		H24	H24			対象外

中学校名	牛久一中	牛久二中	牛久三中	下根中	牛久南中
校舎	対象外	H16	H23	(トイH29)	H29,H30
体育館	対象外				H26



牛久南中学校の廊下の改修（木質化）

● 自校給食の実施

- ▶ 全校に**栄養教諭**もしくは**栄養士**を配置、学校ごとの献立を作成し提供。
- ▶ **地産地消**を目指し、牛久市産の米、牛久市産の小麦粉で作ったパンや麺を提供。
- ▶ 食器は平成12年から**強化磁器**を使用。
- ▶ 調理は業者に委託し、調理室は**ドライ化**6校（岡田小、牛久二小、中根小、ひたち野うしく小、牛久一中、牛久二中）それ以外もドライ仕様。
- ▶ **自校炊飯**を導入しているのは6校（牛久小、牛久二小、ひたち野うしく小、牛久二中、牛久三中、牛久南中）、その他は弁当方式。

大規模改造の取り組みの一例 (下根中学校トイレの様式化)



学校給食『うしくの日』



介護予防

牛久市の高齢化率 27.3%

65歳以上高齢者	高齢夫婦のみ世帯	高齢者単身世帯
23,231人	5,099世帯	2,484世帯

(平成29年度現在)

●新たな流れ

超高齢社会における介護予防の重要性が認識され、平成27年の介護保険改正において、高齢者が要介護状態にならないように総合的に支援する「**介護予防・日常生活支援総合事業**」が創設された。

参考:介護認定者数は2,743人

●それまでとどう違うのか

「**介護予防・日常生活支援総合事業**」には、

「**介護予防・生活支援サービス事業**」

⇒要介護認定を受けた人や、基本チェックリストにより生活機能の低下が見られた人が利用できる。

訪問型サービス（**シルバー人材センター**なども提供）

通所型サービス（地区社協の牛久小学区「**サロンとまり木**」や牛久二小学区「**むつわ**」などの新しい取り組み）

生活支援サービス（ボランティアなど）

「**一般介護予防事業**」⇒ **65歳以上のすべての人が利用できる。**

⇒うしくかつぱつ体操、シルバーリハビリ体操、口腔教室、認知症予防教室



産業建設常任委員会

視察報告

- 7月10日(火) 山形県鶴岡市
駅前ビルの活性化・JR鶴岡駅前の再開発ビル
- 7月11日(水) 宮城県亘理町
観光政策

参加委員

委員長

副委員長

委員

市川圭一
利根川英雄
黒木のぶ子
秋山いずみ
池辺己実夫
長田麻美
甲斐徳之助

山形県鶴岡市の視察目的 駅前ビルの活性化について

牛久駅前ビルエスカードの今後の活性化のために、山形県鶴岡市の駅前商業ビルのリニューアルオープン
を視察。

マリカ西館、東館は昭和62年に営業開始。周辺の大
型商業施設の開店で影響を受け平成19年7月に閉店。
その後、マリカ東館が、1階に食文化情報発信拠点施
設、2階に鶴岡市教育相談センター、3階に庄内産業
振興センターを設置し平成29年7月に営業を開始。



マリカ東館 1階の つるおか食文化市場 FOODEVER



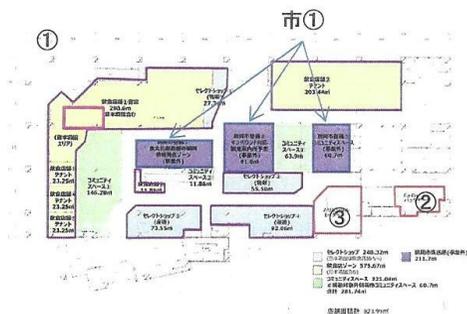
市街地再開発事業の経緯(鶴岡駅前地区)

年	経緯
昭和57～62年	市街地再開発事業 ・市施行(マリカ東館・西館)(駅前広場・地下道・自転車駐車場) ・民間施行(ジャスコ鶴岡店A棟・パークビルB棟)
平成17年	ジャスコ鶴岡店閉店 パークビル権利取得、市営マリカ駐車場として運営
平成18年	ジャスコ鶴岡店解体 ※現在に至るまで更地、土地は鶴岡市開発公社が権利取得
平成19年	マリカ東館店舗閉店 第三セクター鶴岡再開発ビル株式会社の会社清算の終了
平成21年	マリカ東館3階 ・庄内産業振興センター整備(市1055.67㎡) ・子育て広場まんまルーム整備(市374.61㎡)
平成23年	マリカ東館2階 ・鶴岡市教育相談センター整備(市541.39㎡)
平成29年7月	マリカ東館1階 ・食文化情報発信拠点施設FOODEVER整備 (市211.70㎡、民間1481.00㎡)

市による
公共利用
の推進

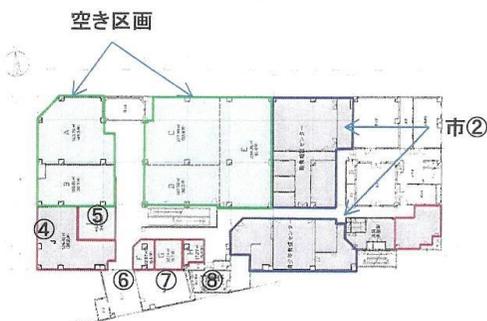
マリカ東館の床利用状況 (H30.4.1現在)

【1階】



区画	契約者名(用途)	床面積(m ²)
①	FOODEVER(店舗)※転貸区画含む	823.99
②	FOODEVER(バックヤード)	34.82
③	民間入居(事務所)	67.60
市①	観光物産課(観光案内所・食文化情報スペース・文化体験スペース)	211.70

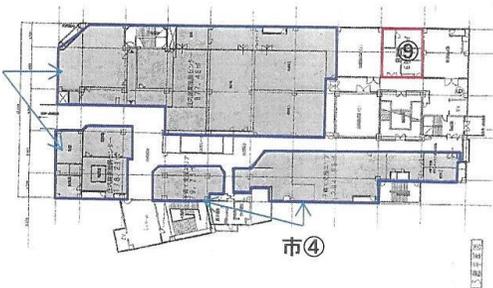
【2階】



区画	契約者名(用途)	床面積(m ²)
④	民間入居(事務所)	126.41
⑤	民間入居(事務所)	46.35
⑥	民間入居(事務所)	22.07
⑦	民間入居(倉庫)	32.14
⑧	民間入居(事務所)	17.27
市②	学校教育課(教育相談センター・青少年育成センター)	541.39
空き		762.64

【3階】

市③



区画	契約者名(用途)	床面積(m ²)
⑨	民間入居(倉庫)	68.25
市③	商工課(庄内産業振興センター)	1055.67
市④	子育て推進課(子育て広場まんまルーム)	374.61

マリカ東館(区画1 店舗)権利集約の経緯

年	経緯	市持分の累計
平成13年	権利一部取得(持分100万分の5万7661)	57,661/1,000,000
平成17年	権利一部取得(持分100万分の1万7159)	74,820/1,000,000
平成19年	権利一部取得(持分100万分の43万9781)	514,601/1,000,000
平成21年	権利一部取得(持分100万分の1万5564)	530,165/1,000,000
平成29年	権利一部取得(持分100万分の40万4114)	934,279/1,000,000



マリカ東館(区画1 店舗)
市:約93%、民間1者:約7%所有

牛久市と鶴岡市の比較

牛久市

エスカード牛久ビル

市の所有床なし
スーパーマーケット
フィットネスクラブ
都市開発株式会社が管理
解決は市主導

鶴岡市

マリカ東館

市の所有床は約93%
公共施設、商工会員、民間事務所
第3セクターは結了
市の担当課と商工会が関与

宮城県亶理町の視察

牛久市の観光地の現状は・・・

- ▶牛久シャトー、牛久大仏、小川芋銭記念館、牛久沼などある程度の観光客は来ているが、市の活性化からすると不十分
- ▶日本人観光客はもとより、外国人観光客の積極的誘致を
- ▶その他

亶理町の取り組み

- ▶観光政策
- ▶インバウンド(訪日外国人旅行者)の取り組み
- ▶観光地域づくり推進法人設立
- ▶町所有の『わたり温泉鳥の海』を
指定管理者で運営

